

「長期療養型病院における抗菌薬使用動向の後ろ向き調査

～抗菌薬適正使用支援チームの活動効果～第2報」

の検証に関する研究へのご協力をお願い

2017年4月1日から2019年6月30日までの間に、当院に入院され注射用抗菌薬による治療を受けられた患者様を対象として「長期療養型病院における抗菌薬使用動向の後ろ向き調査～抗菌薬適正使用支援チームの活動効果～第2報」の検証に関する研究を実施させていただきたいと思っております。

<研究の目的>

近年、多くの国で抗菌薬の効かない薬剤耐性菌の増加が問題となっています。我が国においても、薬剤耐性菌による感染症が広がり大きな問題となっています。薬剤耐性菌による感染症を発症すると、治療が長引いたり難航したりする場合があります。当院では、抗菌薬適正使用支援チーム(AST)を発足し、抗菌薬の適正使用の推進に向け取り組んでいます。そこで、ASTによる抗菌薬治療への活動に伴う注射用抗菌薬の使用量や治療日数の変化を検証し、抗菌薬の適正使用および薬剤耐性菌の発生防止につなげたいと考えています。

<研究の方法>

2017年4月1日から2019年6月30日までに、当院に入院され注射用抗菌薬による治療を受けられた患者様を対象とさせていただきます。抗菌薬の使用期間、使用された薬剤名とその使用量をカルテから収集します。

<個人情報の保護>

今回の研究において、抗菌薬の使用期間、使用された薬剤名とその使用量以外の情報はカルテから収集いたしません。また、収集した情報は、個人情報の保護に十分留意し、個人を特定できる情報を削除し、情報の数値化、データファイルの暗号化を行い、第三者が個人情報を閲覧できないように取り扱いたします。さらに本研究の実施過程およびその結果を学会や論文等で公表する際には患者様を特定できる情報は一切含まず、研究以外の目的には使用いたしません。本研究終了後、すべての情報は破棄いたします。

また、研究参加は自由意志であり、拒否された場合でも不利益は発生いたしません。ご同意いただけない場合やお問い合わせ等がございましたら、下記までご連絡お願いいたします。なお研究手続き上、2019年10月31日までにご連絡お願いいたします。

独立行政法人国立病院機構徳島病院

〒776-8585 徳島県吉野川市鴨島町敷地 1354 電話：0883-24-2161（代表）

研究代表者：感染管理認定看護師 後藤亜香里

共同研究者：薬剤師 阿部正博 都築大輔

臨床検査技師 鶴澤寛子

感染制御医師 宮崎達志 齋藤美穂